

各地区中学校長会活動状況報告

北海道地区中学校長会

会長 古谷雅幸
(北海道札幌市立中の島中学校長)

北海道中学校長会(略称「道中」)は、昭和22年に前身の北海道新制中学校長会が発足して以来、中学校長の職能向上を図り、北海道中学校教育の振興を目的として活動を続けている。

北海道は、少子高齢化と人口減少が全国を上回る速さで進む中で学校の統廃合が続き、昨年度より10校減の単置校550校、併置校36校の計586校の中学校長を会員とし、「全日中教育ビジョン～学校からの教育改革」を踏まえた運営方針並びに活動の重点に基づき、会員相互の連携のもと、校長としての主体性と指導性を発揮して道民の負託に応える北海道の中学校教育を推進すべく活動している。

1 組織

政令市への税源移譲に伴って札幌市を1つのブロックとして独立させた今年度より、会員規定を「北海道の公立中学校長」から「北海道の各地区中学校長会の連合体」と変更した。広域の北海道を6つのブロックに分け、各ブロックに副会長を置き、ブロック体制による運営を行っている。また、道中には20の地区校長会があるが、その内の16地区校長会が小中合同、残り4地区が中単独の校長会となっている。小中合同の校長会が多いこともあり、北海道小学校長会(道小)との連携を進めながら、よりスムーズな運営を目指して活動を行っているが、今後も統廃合が予想される中、ブロックの再編等の課題を抱えている。

2 機関会議

例年、総会研修会(年1回5月)、副会長・部長研修会(年2回)、理事研修会(年6回)、事務局研修会(年9回)、さらに経営、研修、対策、情報の4つの専門部ごとの研修会を年2回開催している。

3 主な活動

(1) 北海道中学校長会創立70周年記念 第59回北海道中学校長会研究大会 石狩・千歳大会

標記の大会を石狩管内の千歳市において、9月22日、23日の2日間日程で行う予定である。

1日目は、70周年記念式典に引き続き開会式を行い、午後からは5つの分科会に分かれて研究協議を行う。また、夕刻より歴代会長の参加もいただきながら記念祝賀会を開催する。

2日目は、全日中直田会長から教育情勢報告をいただき、その後、「中学校教育70周年記念 第68回全日本中学校長会東京大会 全体協議会」で日高地区が発表する提案説明を行い、その後は、元バレーボール女子日本代表の成田郁久美氏による記念講演を行い、閉会式で2日間の大会の幕を閉じる。

今年度は4か年継続研究主題「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」の2年目にあたり、昨年度の上川・旭川大会での研究実践の成果を受け継ぎつつ、次代を見据えた研究協議を行う。各分科会においては、設定課題に沿った日ごろの共同研究に基づく発表が各地区より行われ、グループ討議を取り入れた積極的な意見交流が期待される。全道から330名近い校長が参加する予定であり、実りの多い大会となることを願っている。

① 期 日 平成29年9月22日(金)・23日(土)

② 場 所 北ガス文化ホール、ANA クラウンプラザホテル千歳

③ 大会主題 「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育
一人一人が未来の創り手に～心豊かでたくましい子どもを育てる学校経営の在り方」

④ 分科会 第1分科会 創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施(函館市地区提言)

第2分科会 確かな学力の定着を図る指導と評価(後志地区提言)

第3分科会 豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実(空知地区提言)

第4分科会 自らの生き方と社会性を育む教育の充実(上川地区提言)

第5分科会 時代の要請に応える学校経営の充実(十勝地区提言)

⑤ 記念講演

講師 元バレーボール女子日本代表 成田 郁久美 氏

演題 「バレーボールと私 ～現在・過去・未来」

(2) 地区別教育経営研究会、同法制研修会

毎年、校長の職能向上を目的に、7月末～10月にかけて全道19地区で開催する計画で取り組んでいる。

道小との合同開催で、それぞれの地区に事務局から役員・事務局幹事を派遣し、小中合同で作成した「法制研究集録」や「学校経営の資料」等を活用して、教育情勢報告や事前に調査した地区からの質問・要望等への回答を行っている。また、昨年度より道中・道小の活動紹介も行っている。

多くの地区では各教育局や教育委員会から招いた講師による実務研修や、会員による実践発表、課題別に分科会を設定して研究協議を行うなど、年々充実した内容になってきている。また、ほとんどが小中合同で開催されるため、小中の交流や情報交換の場としても大きな役割を果たしている。

(3) 校長会ブロック研修会

全道の5ブロックでそれぞれ行われる研修会は、各市町村、地区及びブロック役員で構成され、各地区の組織運営の交流や各地域における教育課題への対応、当面する諸課題について研究協議等を行っている。

(4) 要望・提言活動

毎年、北海道小学校長会・北海道中学校長会・北海道公立学校教頭会の三者で、北海道教育委員会に対して、次年度の文教施策・予算策定に関する要望活動を行っている。各地区から寄せられた要望項目を整理し、5月中旬に「北海道文教施策・予算策定に関する要望書」として道教委に提出している。6月末までに各項目に対して詳細な回答があり、回答の全容を7月末に「道小情報・道中だより号外1」で全会員に報告している。この回答のまとめをもとに、今年8月4日（金）13:30から、道庁別館で、道教委から教育長、教育部長、学校教育監、関係局長、関係課長等の幹部に出席いただき、道小・道中・道公教からの70名を超える参加者との間で、文教施策懇談会・各課懇談会が行われた。

はじめに全体会（文教施策懇談会）が行われ、教育長、教育部長、学校教育監、関係局長・課長と文教施策についての意見交換を行い、後半の分科会（各課懇談会）では、3分科会に分かれてテーマ毎に関係各課の主幹、主査と懇談を行った。今年度は、双方向で活発な話し合いができるように分科会での意見交流の時間を十分に取り、多くの参加者から質問や意見が出され、充実した懇談会となった。これらの懇談会の詳細は「道小情報・道中だより号外2」で全会員に報告し、各地区での教育局に対する要望活動の資料として活用している。

その他、5月には北海道小学校長会とともに、新学習指導要領の実施を見据えた本道教育の充実に向けて、要望書の他に「今求められている教育の実現に向けた教育条件の整備についての提言～『チーム北海道』として～」をまとめ、北海道教育委員会に提出している。特に「次期学習指導要領の趣旨を生かした授業構築に向けた教育条件の整備への提言」では、バランスのとれた年齢構成の教員集団となる人事異動や代替教員欠員の解消を含めた教員の定数確保に向けた体制整備、プログラミング教育・外国語教育に関わる教材教具等の整備等について説明し、さらに「『チームとしての学校』の実現に向けた条件整備への提言」では、チーム体制構築のための人的配置及び専門職員の導入と、チーム力向上のための家庭、地域、関係機関との連携・協働体制の整備について具体的に説明しながら提言を行った。

(5) 広報活動

本会の刊行物として、会報「道中だより」（経費削減のため今年度から号外も含め年9回を6回に変更）、会誌「全道中」（年1回 今年度は70周年記念誌として発行）、研究大会開催地発行の「研究紀要」、研修部発行の「研究の手引き」、経営部発行の「法制研究集録」、「学校経営の資料」等がある。また、研修部による「教育課程に関する調査報告書」も発行される。また、道中のホームページを情報部が担当し、本会の情報発信のツールとして更新・充実・活用に努めている。

(6) 組織の在り方の検討

本会では、平成27年2月より組織検討委員会を設置し、会員数減少に伴う会費収入減に対応する活動の在り方と今年度実施された県費負担教職員制度の見直しに伴う本会組織の在り方について、昨年度2月まで多くの時間をかけて検討を進めてきた。今年度の総会で、その見直しに関わる事項がすべて承認され、本会は新たなスタートを切ることができた。

しかし、前述したとおり今後も学校の統廃合が進むことが予想されるために、より一層の北海道小学校長会との連携を検討すべき時期になっていると考えている。今後の北海道教育をさらに振興させるために、よりよい組織体制を構築していきたい。

東北地区中学校長会

会長 高橋清之

(岩手県盛岡市立下橋中学校長)

平成29年度東北地区中学校長会は、福島県220校（2校減）、宮城県200校（2校減）、岩手県161校（2校減）、山形県98校（増減なし）、秋田県115校（増減なし）、青森県161校（4校減）の合計955校（前年度から10校減）の会員で構成されている。事務局は、東北地区中学校長会研究協議会の開催県が担当することとなっ

ており、今年度は岩手県に置かれている。(H28宮城県、H30山形県)

本会は、東日本大震災発災以降、「東北はひとつ」という合言葉を胸に、大震災や原発事故によって被災した地域の教育活動の正常化等を共通課題と掲げながら共に歩んできたが、6年余が経過をした今年度も、各県相互の連携・協力を継続させながら、その歩みをさらに前進させていくことを願っている。

また、副会長会や理事会、研究協議会等における情報交換や研究協議を活発に行いながら、各県や各校の創意工夫のある取組に学びつつ、教育改革の推進や中学校教育が当面する諸課題の解決にも努めていきたい。

1 東北地区中学校長会の概要

(1) 目的及び事業

本会は、東北地区各県中学校長会相互の連絡提携を図り、もって東北地区中学校教育の振興に期することを目的としており、次の事業を行っている。

- ① 各県中学校長会の連絡提携に関すること
- ② 教育に関する研究調査・情報の交換に関すること
- ③ 全日本中学校長会との連携に関すること
- ④ その他本会の目的達成に必要なこと

(2) 平成29年度組織

東北地区中学校長会の今年度の役員は次のとおりである。

会 長	高 橋 清 之 (岩手・下橋中)		
副 会 長	福 地 憲 司 (福島・福島四中)	桂 島 晃 (宮城・塩竈一中)	
	吉 田 勝 彦 (山形・山形一中)	佐 藤 淳 (秋田・秋田東中)	
	伴 孝 文 (青森・南中)	吉 田 昌 陽 (岩手・城東中)	
監 事	星 淳 一 (山形・山形十中)	松井端 巧 (岩手・下小路中)	
理 事	飯 村 新 市 (福島・郡山二中)	寺 木 誠 伸 (福島・会津若松四中)	
	新 山 弘 幸 (宮城・長町中)	大 石 正 利 (宮城・亘理中)	
	阿 部 善 和 (山形・山形五中)	多 田 徹 (山形・山辺中)	
	相 澤 孝 一 (秋田・土崎中)	茜 谷 英 也 (秋田・秋田南中)	
	伊 藤 隆 (青森・甲田中)	川 井 清 広 (青森・沖館中)	
	佐 藤 精 晋 (岩手・厨川中)	田 村 忠 (岩手・大宮中)	
幹 事 長	佐 藤 進 (岩手・上田中)		
副幹事長	齊 藤 真理子 (岩手・黒石野中)	会計幹事	菅 井 雅 之 (岩手・見前中)
事務局長	古 里 真 美 (岩手・県事務局)	事務局員	佐 藤 佳 子 (岩手・県事務局)

(3) 平成29年度事業

- ① 第1回副会長会【盛岡市】 6月9日(金)
 - ・理事会提案事項の審議
 - ・平成29年度東北地区中学校長会研究協議会岩手大会の運営
 - ・情報交換「教職員の多忙化解消」「いじめ問題への対応」等
- ② 第1回理事会【花巻市】 6月29日(木)
 - ・平成29年度役員、幹事報告
 - ・平成28年度事業、会計決算、監査報告
 - ・平成29年度事業計画(案)、会計予算(案)、宣言・決議(案)
 - ・研究協議会等提案事項の審議、議決
 - ・確認事項
 - ・情報交換「教職員の多忙化解消」「いじめ問題への対応」 その他
- ③ 第67回東北地区中学校長会研究協議会岩手大会【花巻市】 6月29日(木)～30日(金)
 - 〈第1日目〉・開会式
 - ・理事会報告
 - ・宣言・決議
 - ・全日中からの報告
 - 〈第2日目〉・分科会別研究協議(3分科会)
 - ・記念講演(NHK 三宅民夫氏)
 - ・閉会式
- ④ 臨時副会長会【東京都】 10月18日(水)
 - ・平成30年度事業計画(案)
 - ・情報交換
 - その他
- ⑤ 監査会【盛岡市】 2月2日(金)
 - ・平成29年度会計監査
- ⑥ 第2回副会長会【盛岡市】 2月2日(金)
 - ・理事会提案事項の審議
 - ・平成29年度会運営の反省
 - その他
- ⑦ 第2回理事会【盛岡市】 2月2日(金)
 - ・平成29年度事業、会計決算、監査報告
 - ・平成30年度事業計画(案)、会計予算(案)、宣言・決議(案)
 - ・平成30年度山形大会について
 - ・情報交換
 - その他
- ⑧ 事務局会【盛岡市】 2月2日(金)
 - ・事務局運営について
 - ・引継
 - ・情報交換
 - その他

2 平成29年度第67回東北地区中学校長会研究協議会岩手大会

- (1) 期 日 平成29年6月29日(木)、30日(金)
- (2) 会 場 岩手県花巻市 ホテル千秋閣・ホテル花巻・ホテル紅葉館
- (3) 日 程
 - 〈第1日〉 ① 理事会、分科会運営委員会
 - ② 研究協議会開会式
・挨拶：大会会長 ・祝辞：岩手県教育長、花巻市長、全日中会長
・感謝状贈呈
 - ③ 理事会報告
 - ④ 東北地区中学校長会宣言・決議
 - ⑤ 全日中報告 全日本中学校長会 直田益明会長
 - 〈第2日〉 ① 分科会別研究協議
 - 第1分科会「生涯にわたり学習する基盤を培う『確かな学力』の定着と向上」
秋田・山内中 鈴木雄幸校長 青森・五戸中 米田清治校長
 - 第2分科会「『生きる力』を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善」
福島・会北中 高山良勝校長 宮城・志津川中 三浦馨校長
 - 第3分科会「時代の要請に応える学校経営の充実」
岩手・江刺南中 橋場中士校長 山形・金井中 渋谷和久校長
 - ② 記念講演「私たち、そして子どもたちの未来へ～『NHKスペシャル』キャスターとして考えたこと～」 NHK エグゼクティブアナウンサー 三宅民夫氏
- (4) その他
〈ロビー展示〉「東日本大震災から6年経過した岩手の様子と“いわての復興教育”取組事例」
- (5) 大会概況

本年度の東北地区中学校長会研究協議会は、「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」の大会主題のもと、6月29日(木)と30日(金)の2日間にわたり、宮沢賢治生誕の地「イーハトーブ」岩手県花巻市において開催された。本大会は、平成22年度以来7年ぶり、そして大震災発災以降では、初となる岩手県での開催となった。

大会には、東北各県から約750名の会員が参集し、震災からの復興と東北地区中学校教育の一層の充実・発展に向けて、活発な意見交換、情報交流が行われた。

第1日目には全日中直田益明会長の御臨席も賜り、全日中の本年度の取組、東日本大震災支援委員会の活動予定や新学習指導要領、加配定数の基礎定数化に関する情報や重点施策、予算等の国の動向等についての貴重な御講話をいただいた。

第2日目の分科会別研究協議では、上記の研究題のもと、6県から6つの研究が発表され、それをもとに熱心な協議が行われた。その後の記念講演では、岩手が初任地でもあり、東日本大震災特番などのキャスターも務め、東北に縁の深いNHKの三宅民夫エグゼクティブアナウンサーから「私たち、そして子どもたちの未来へ～『NHKスペシャル』キャスターとして考えたこと～」と題して貴重な御講演をいただき、大会は成功裏に終えた。

関東甲信越地区中学校長会

会長 高橋 哲也

(栃木県宇都宮市立陽南中学校長)

関東甲信越地区中学校長会は、1都9県で構成され、各校長会相互の緊密な連携を図り、中学校教育の振興を期することを目的にしている。研究協議会は、全日中総会が行われる東京都を除いて、9県の輪番で開催している。本年度は、千葉県で開催した。事務局は、次年度開催県の栃木県が担当する。

1 組織及び役員一覧

会 長	高橋 哲也 (栃木・宇都宮市立陽南中)	渡邊 龍夫 (群馬・前橋市立第六中)
副 会 長	羽山 稔彦 (千葉・館山市立第二中)	関 孝志 (長野・木島平村立木島平中)
監 事	古屋 一彦 (山梨・笛吹市立浅川中)	小澤 雅人 (東京・杉並区立阿佐ヶ谷中)
理 事	岩永 章 (東京・新宿区立新宿西戸山中)	今溝 良司 (埼玉・さいたま市立白幡中)
	松本 文利 (埼玉・熊谷市立富士見中)	稲毛 信幸 (神奈川・川崎市立南河原中)
	菊地原宏明 (神奈川・相模原市立鶴野森中)	

本山 哲也 (千葉・浦安市立日の出中) 石崎千恵子 (茨城・鉾田市立鉾田南中)
 伴 敦夫 (茨城・水戸市立第一中)
 小池 正巳 (栃木・宇都宮市立姿川中)
 宮崎 徹 (群馬・前橋市立第五中)
 小田切雅裕 (山梨・南アルプス市立櫛形中) 山本 文丸 (山梨・北杜市立白州中)
 武田 育夫 (長野・伊那市立伊那中) 西澤 道生 (長野・長野市立柳町中)
 濱中 力也 (新潟・新潟市立白新中) 小林 晃彦 (新潟・上越市立城北中)
 幹 事 加藤 明男 (栃木・宇都宮市立国本中) 樽井 久 (栃木・宇都宮市立見陽中)
 鈴木 克伸 (栃木・上三川町立明治中)
 事務局長 片桐 晃 (栃木・栃木県中校長会)
 会員数 東京(615校) 埼玉(412校) 神奈川(408校) 千葉(376校) 茨城(223校)
 栃木(154校) 群馬(162校) 山梨(80校) 長野(187校) 新潟(228校) 合計(2,845校)
 輪番の原則 群馬、埼玉、山梨、茨城、長野、千葉、神奈川、栃木、新潟

2 理事会等

(1) 定例理事会

定例理事会は、年3回開催し、次のような内容を協議する。また、全日中会長・事務局長を招待し情報交換を行う。

①第1回理事会 6月8日(木) 会場：千葉市・TKPガーデンシティ千葉

- ・平成28年度事業報告、決算報告、会計監査報告
- ・平成29年度事業計画、予算審議
- ・研究協議会 第69回千葉大会、第70回栃木大会、第71回群馬大会について

②第2回理事会 9月8日(金)～9日(土) 会場：宇都宮市・ホテルニューイタヤ

- ・第1回事務局長会報告
- ・第69回千葉大会の評価、今後の研究協議会の在り方について
- ・第70回栃木大会推進要項の審議・決定
- ・第71回群馬大会研究協議題、研究の視点等の検討
- ・平成29年度事業計画(案)の検討

※新旧役員歓送迎会を開催

③第3回理事会 平成30年1月12日(金) 会場：東京・全日中会館

- ・第2回事務局長会報告
- ・第70回栃木大会 大会案内、宣言案、予算案、運営要項等の審議、決定
- ・次年度第1回理事会提出議案の検討
- ・第71回群馬大会の準備の進捗状況の確認、推進要項の検討

(2) 定例事務局長会・本部役員会

定例事務局長会は、年2回開催し、次の事項を協議する。また、全日中事務局長を招待し、情報交換を行う。

①第1回事務局長会・本部役員会 7月14日(金)～15日(土) 会場：宇都宮市・ホテルニューイタヤ

- ・第2回理事会の内容の検討、情報交換 ※新旧事務局長歓送迎会の開催

②第2回事務局長会・本部役員会 12月8日(金) 会場：東京・全日中会館

- ・第3回理事会の内容の検討、情報交換

(3) 会計監査会 平成30年3月2日(金) 栃木県宇都宮市

(4) 事務引継会 平成30年3月16日(金) 栃木県宇都宮市

3 第69回研究協議会千葉大会

(1) 期 日 6月8日(木)～9日(金)

(2) 会 場 千葉県千葉市 全体会 TKPガーデンシティ千葉 1,015名参加
分科会 TKPガーデンシティ千葉 各会場

(3) 目 的 全体協議題及び9分科会の研究協議を通して、校長としての力量を高め、学校経営の充実に資する。

(4) 全体協議題

「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く人間を育てる中学校教育」

(5) 開会行事 挨拶 大会会長(栃木県宇都宮市立陽南中・高橋 哲也)
大会実行委員長(千葉県館山市立第二中・羽山 稔彦)
祝辞 千葉県知事(代理 千葉県副知事 諸橋 省明 様)
千葉市長(熊谷 俊人 様)

		全日本中学校長会長 (直田 益明 様)	
全体協議会	提案	千葉県中学校長会	金澤 俊 校長 (香取市立新島中)
記念講演	演題	「ロボット技術と未来社会」	
	講師	千葉工業大学	未来ロボット技術研究センター「fuRo」所長 古田 貴之 様
分科会	第1「教育課程」	A提案者	関 正幸 (千葉・御宿町立御宿中)
		B提案者	一柳 直行 (神奈川・横須賀市立追浜中)
	第2「基礎基本」	A提案者	渡辺 渡 (千葉・佐倉市立井野中)
		B提案者	阿部 正賢 (栃木・足利市立北中)
	第3「健康・体力」	A提案者	中川 修一 (千葉・千葉市立幕張本郷中)
		B提案者	青木 絹子 (埼玉・熊谷市立大麻生中)
	第4「道德教育」	A提案者	仲臺 和浩 (千葉・船橋市立金杉台中)
		B提案者	松縄 隆之 (新潟・上越市立潮陵中)
	第5「生徒指導」	A提案者	田中 弘美 (千葉・流山市立おおたかの森中)
		B提案者	田島 康匡 (群馬・伊勢崎市立境西中)
	第6「進路指導」	A提案者	大澤 政明 (千葉・君津市立周南中)
		B提案者	小宮山雅文 (山梨・甲斐市立竜王中)
	第7「職員研修」	A提案者	高柳 聡 (千葉・南房総市立富山中)
		B提案者	細谷 昭彦 (茨城・北茨城市立中郷中)
	第8「経営課題」	A提案者	國吉 正彦 (千葉・市原市立八幡東中)
		B提案者	山根 義夫 (長野・千曲市立戸倉上山田中)
	第9「条件整備」	A提案者	澤本 良昭 (千葉・東金市立北中)
		B提案者	齋藤 実 (東京・武蔵村山市立小中一貫校村山学園)
閉会行事	分科会ごとに終了	※栃木県参加者より次回栃木大会の案内	

(6) まとめ

記念講演では、千葉工業大学未来ロボット技術研究センターの古田貴之先生から、「ロボット技術と未来社会」と題して、現代社会におけるロボット技術の進歩とそれらを活用した未来社会の展望についてご講演をいただいた。具体的な映像とユーモアを交えてのお話は、夢あふれ、たいへん興味深いものであった。全体協議会や分科会では、千葉県中学校長会の基調提案を受け、9つの分科会において、1都9県の先生方から実践に基づく提案がなされ、充実した研究協議が展開された。

東海北陸地区中学校長会

会長 川上 啓一郎
(福井県福井市光陽中学校長)

1 組織及び事業

(1) 組織

本会は、岐阜県(180校)、愛知県(413校)、富山県(79校)、三重県(150校)、石川県(84校)、静岡県(260校)、福井県(73校)の7県で構成し、本年度の会員数は1,239校で、昨年度より7校減となった。

本年度事務局を、東海北陸中学校長会研究協議会開催地である福井県に置き、会長は、福井県中学校長会長が選出されている。役員は、会長1名、副会長6名(福井県を除いた各県中学校長会長)、理事14名(各県2名)、監事3名(開催県、次期開催県、次々開催県より1名)、幹事10名で組織している。

(2) 事業

本会は、教育に関する調査研究及び研究協議、各県校長会相互の連絡協力、教育関係団体との連絡協力、その他(本会の目的達成に必要な事業)を行う。そのため、理事会を年2回開催し、役員を選出に関すること、予算及び決算に関すること、事業計画・事業報告に関すること等を審議・決議している。

○第1回 理事会 7月6日(木) 於: ホテルフジタ福井 ザ・グランユアーズフクイ 瑞雲の間
協議事項

① 平成29年度 東海北陸中学校長会 役員選任

会 長	川上啓一郎	福井・光陽中	
副会長	村井 義史	岐阜・加納中	酒井 敬
	川合陽一郎	三重・橋北中	平澤 晃一
			愛知・豊南中
			石川・芝原中
			牧田 康博
			富山・東部中
			渡邊 聡
			静岡・榛原中

理事	古田 哲也	岐阜・西中	谷口 邦彦	岐阜・梅林中	野木森 広	愛知・岩倉中
	上井 靖	愛知・八王子中	濱谷 一男	富山・奥田中	富田 利通	富山・井波中
	深見 充弘	三重・殿町中	室谷 隆子	三重・入鹿中	波佐尾雅美	石川・辰口中
	林 大智	石川・中能登中	月見里茂希	静岡・城内中	唐國 宏章	静岡・大岡中
	吉田 昌幸	福井・気比中	柴田 顕光	福井・美山中		
監事	坂野 幸彦	愛知・丸の内中	桑原 利光	岐阜・青山中	藤田 清憲	福井・足羽一中

- ② 平成28年度 東海北陸中学校長会 会務・会計決算・監査報告
- ③ 平成29年度 東海北陸中学校長会 事業計画・予算書承認
- ④ 第57回東海北陸中学校長会研究協議会福井大会について確認
- ⑤ 第58回東海北陸中学校長会研究協議会岐阜大会 概要について
 - ・岐阜大会の研究主題・分科会協議題の確認
 - ・岐阜大会の分科会数を8から9にすることの確認
 - ・岐阜大会の参加規模（各県参加率）に関する調整
- ⑥ その他
 - ・平成41年度までの開催地及び分科会発表等に関する確認
 - ・平成42年度以降の開催地順に関する各県の意向確認と協議（継続審議）
 - ・今後の適正な大会運営（内容・参加率等）に関する各県の意向確認と協議（継続審議）

○第2回 理事会開催予定 2月1日（木）～3日（金） 於：岐阜県

- ・平成29年度 東海北陸中学校長会 会務・会計決算・監査報告
- ・平成30年度 東海北陸中学校長会 事業計画・予算書（案）
- ・その他（第1回理事会で継続審議となった内容、他）

2 第57回東海北陸中学校長会研究協議会福井大会

平成29年7月6日・7日の2日間、福井市において第57回東海北陸中学校長会研究協議会福井大会を開催した。一昨年の石川大会から「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」という研究主題のもと、福井市にあるフェニックス・プラザを主会場として、東海北陸7県から千名近い参加者が集った。1日目の分科会はフェニックス・プラザ、AOSSA（アオッサ）、ハピリン、福井県国際交流会館の4会場で8分科会を実施した。どの分科会も、前半に文書発表者によるポスターセッションを行い、その後2名による口頭発表を聞き、研究の柱に沿って小グループによるグループ協議の時間を持った。どのグループも時間いっぱい熱心に協議が行われた。

【第1分科会】テーマ：「生きる力」を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善

口頭発表1 教育課程と日常的な授業改善を軸とした学校づくりを目指して

田中 雅也（愛知・高森台中）

口頭発表2 コミュニケーション能力育成を重視して

高島 栄治（石川・緑中）

【第2分科会】テーマ：生涯にわたり学習する基盤を培う「確かな学力」の定着と向上

口頭発表1 「何のために」を問い続ける主体的な学びからのアプローチ

大久保昌倫（福井・越廼中）

口頭発表2 静岡型小中一貫教育を意識した学力向上への取組

坪井晃一郎（静岡・袖師中）

【第3分科会】テーマ：心に響き、心を耕す道徳教育の充実

口頭発表1 副題なし（校長としての道徳科の実施に向けた取組と道徳教育推進教師を中心にした指導体制の整備について）

香田 静夫（岐阜・輪之内中）

口頭発表2 学校を超え地域全体の中学生で考え発信するネットモラル

中野 拓也（三重・尾鷲中）

【第4分科会】テーマ：健やかな身体の育成と体力の向上を図る教育の充実

口頭発表1 学校教育活動における体力の向上を図る効果的な取組

宮本 浩哉（富山・五位中）

口頭発表2 自らの健康づくりに主体的に取り組む生徒の育成

筒井 健一（愛知・足助中）

【第5分科会】テーマ：未来を切り拓くためのキャリア教育の視点に立った進路指導の充実

口頭発表1 地域の特性を踏まえた計画的・組織的なキャリア教育の視点から

西又 浩二（石川・東陽中）

口頭発表2 地域を愛し、役に立とうとする夢をもった人材の育成

深澤 大（静岡・原野谷中）

【第6分科会】テーマ：自己肯定感や達成感のある豊かな学校生活を築く指導の充実

口頭発表1 地域に貢献する活動を通して

岩崎 伸輔（愛知・はとり中）

口頭発表2 いじめ問題への対応の在り方

神谷 俊行（岐阜・藍川東中）

【第7分科会】テーマ：質の高い教育を実現するための人材育成の推進

口頭発表1 指導力向上プロジェクトチーム作戦と小中連携の取組

水谷 善長（福井・武生三中）

- 口頭発表2 信頼に応えられる教員の育成と研修の在り方 桑嶋 一彦 (富山・杉原中)
【第8分科会】 テーマ：時代の要請に応える学校経営の充実
 口頭発表1 学校評価を生かした地域に開かれた信頼される学校づくり 南 庸善 (三重・城東中)
 口頭発表2 特色ある取組を生かした学校改善の組織的・継続的な推進 西田 誠一 (石川・国府中)

各分科会では、はじめに文書発表者によるポスターセッション的な発表の時間を15分程度取った。発表者の中には、キーワードの部分事前にマスキングし、説明を進めるに従ってマスキングを外していくという工夫をされたり、マジックでアンダーラインを引いたり、丸で囲んだり、矢印で結んだりしながら、あたかも生徒に授業をするような雰囲気や熱心に説明するなど、どこのブースも大変盛り上がりがあったように感じた。また、口頭発表の場面では、研究の柱をもとに小人数でグループ討議をしていただいた。はじめに名刺交換をしながら自己紹介をした後、話し合いをするなど、参加者全員が何か一言は話す場面が設けられた。最後にいくつかのグループの代表者に話し合われた内容について発表していただいたり、その発表をもとに質疑応答したりするなど、同じ悩みを持つ校長がいることや学校経営を進めていく上でヒントになったことなど、多くの情報を交換することができた。

第2日の全体会では、直田益明全日中会長様の挨拶に続いて、福井県知事 西川一誠様、福井市長 東村新一様から御祝辞を頂いた。続いて、文部科学省大臣官房審議官 白間竜一郎様から、次期学習指導要領の解説を中心に行政説明をお聞きした。その後の記念講演では、地域医療のスペシャリストである名田庄診療所所長の中村伸一様より『実践幸福論 ～誰もが幸せになるための確かな方法～』という演題で御講演を頂きました。片田舎に住む全ての住民の医療に長年携わった経験から、「幸せになるためには人と人とのつながりが大切であり、絆が大切である。『人に謝ったり、人を許したりすること』で相手を受け入れることが大切であり、『愛を受けるために、まず愛情を注ぐこと』、幸せになるためには相手に幸せを与えることが大切である」ということをユーモアを交えながら話をしてくださいました。人と関わるという点では我々教師も同じであり、子どもたちを健やかに成長させるためには何が大切なのかを考えさせる講演であった。

福井県中学校長会は、「つるつるいっぱいのおもてなし」を合い言葉に、会員73名が一丸となって準備・当日の運営にあたった。参加された方々から、「文書発表の方の発表をポスターセッションで聞き、より深い理解ができてよかった」、「グループ協議では、口頭発表者以外の学校の様子も聞くことができて参考になった」、「講演はとても感動し、考えさせられる内容で、医師も教師も大切なのは生き方教育なのだと改めて感じました」、「こんな素敵な講演を今まで聴いたことがありませんでした」、「分科会の進行・運営の工夫が図られ、限られた時間の中で情報交換・協議が行われるようにするご努力とご配慮を感じました」など、多くの声が寄せられ、福井県中学校長会会員全員の心が届いたと感激している。今後、福井大会の成果が、会員の皆様の学校経営充実に役立つとともに、東海北陸全体の中学校教育の更なる発展に寄与することができれば幸いである。現在、研究集録を作成中である。完成したら全会員に配布すると共に、アンケート調査等で明らかになった成果や課題、大会運営に関する資料等をまとめ、次期開催県の岐阜県へ引き継ぐ予定である。

近畿地区中学校長会

会長 西村 文一
 (滋賀県甲賀市立水口中学校長)

近畿中学校長会は、大阪府(462校)、兵庫県(340校)、奈良県(98校)、京都府(175校)、和歌山県(112校)、滋賀県(96校)の計1,283校で組織されており、「近畿はひとつ」の合い言葉のもと、長年培われてきた各府県相互の緊密な連携と協調を大切に、活動を推進している。

本会の活動の場としては、理事会や専門部会、近畿中学校長会研究協議会等がある。特に理事会での情報交換においては、教育課程の編成実施における特徴的な取組や課題、いじめ問題や学校不適應などその時々々の学校現場における喫緊の課題等について、各府県の取組やその対応策に関する議論を深め、各府県が課題に対処していく上での情報収集の大切な場となっている。

1 近畿中学校長会理事会

理事会は年5回実施しているが、毎年6月に開催する近畿中学校長会研究協議会の前日に、第2回理事会と第1回専門委員会を実施している。

- ① 第1回理事会 期日：平成29年5月12日(金) 会場：琵琶湖ホテル(滋賀県)

- 平成28年度近畿中学校長会本部報告、会計報告、平成29年度役員選出、会計予算案、年間計画案の審議
- 第68回近畿中学校長会研究協議会滋賀大会について
- 近畿中学校長会「会則」「覚書き」等の確認
- 情報交換等
- ② 第2回理事会 期日：平成29年6月15日（木）会場：びわ湖大津プリンスホテル（滋賀県）
 - 全日中理事会報告及び総会報告
 - 第68回近畿中学校長会研究協議会滋賀大会運営詳細要項の説明と確認
 - 大会宣言案、決議案、特別決議案の説明
 - 情報交換等
 - 平成28年度末で退職・退任された12名の役員に対する感謝状及び記念品の贈呈
- ③ 第3回理事会 期日：平成29年9月8日（金）会場：楠公会館（兵庫県）
- ④ 第4回理事会（予定）期日：平成29年11月18日（土）会場：ホテルグランピア和歌山（和歌山県）
- ⑤ 第5回理事会（予定）期日：平成30年2月7日（水）会場：ホテルアウイーナ大阪（大阪府）

2 専門委員会

専門委員会は理事会の諮問に答申する機関としての役割を担い、「学校管理専門委員会」、「給与専門委員会」、「進路指導専門委員会」、「生徒指導専門委員会」、「修学旅行専門委員会」の5つの専門委員会を設置している。

各府県1名または2名の委員をもって構成し、第1回専門委員会において委員長・副委員長を選出し、活動方針並びに年間活動計画を立て活動を行っている。本年度も各専門委員会ごとに年間数回の会合を持ち、研究調査や情報交換を実施し、調査・研究の成果を冊子にまとめて誌上報告を行う。

なお、私立高等学校の入試期日の早期化防止に関しては、近畿地区中学校に共通する課題であることから、進路指導専門委員会では近畿中学校長会と連携し、入試期日の早期化防止について、近畿中学校長会名での要望書を近畿中学校長会研究協議会で採択後、私立中学高等学校連合会に提出している。

3 第68回近畿中学校長会研究協議会滋賀大会

第68回近畿中学校長会研究協議会滋賀大会は、6月16日（金）に近畿各府県から約1,200名の校長先生方を湖国・滋賀に迎え、びわ湖大津プリンスホテルを会場に開催した。

滋賀大会では、大会主題に「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」を掲げ、サブテーマを「実社会との関わりを重視し、自立と協働に向けた力を育む」とし、全体会及び各分科会での研究協議を行った。

- ① 開会式 挨拶 大会委員長 西村 文一（滋賀県・甲賀市立水口中学校長）
 祝辞 文部科学省大臣官房審議官初等中等教育局担当 白間竜一郎 様
 滋賀県知事 三日月大造 様（代理 滋賀県副知事 池永 肇恵 様）
 大津市長 越 直美 様（メッセージ）
 全日本中学校長会長 直田 益明 様
- ② 行政説明 テーマ「当面する初等中等教育上の諸課題」
 文部科学省大臣官房審議官初等中等教育局担当 白間竜一郎 様
- ③ 全体会 平成28年度活動報告、平成28年度決算報告、平成29年度役員改選
 平成29年度予算案、大会宣言及び決議、特別決議の採択
- ④ 研究協議会・分科会
 - 第1分科会（教育課程）「社会に開かれた創意ある教育課程の編成と実施上の諸課題」
 【提案題1】「施設一体型小中一貫校における特色ある教育課程の実施」
 石田 光春〈京都府・宇治市立黄檗中学校長〉
 【提案題2】「主体的な学びから生徒の生きる力を育む」
 ～キャリア教育の視点の活用とG-OJTによる教員育成～
 藤村 厚〈滋賀県・守山市立守山南中学校長〉
 - 第2分科会（生徒指導）「豊かな人間性を育み、規範意識を醸成しながら自己実現を図る生徒指導」
 【提案題1】「安心・安全な学校づくり」
 ～地域とともに取り組んだ校内秩序の再構築～
 吉江 正彰〈大阪府・大阪市立玉出中学校長〉
 【提案題2】「生徒・保護者・地域との関係を大切に生徒指導」
 片岡 孝典〈奈良県・宇陀市立大宇陀中学校長〉
 - 第3分科会（人権教育）「確かな人権感覚と実践力を育てる人権教育の充実」
 【提案題1】「家庭・学校・地域が連携した人権を尊重する心豊かな人づくりの推進」

～自他を尊重し、関わり合い・支え合い・高め合う生徒の育成～

岡 賢司〈和歌山県・かつらぎ町立妙寺中学校長〉

【提案題2】「人権教育は『仲間づくり』に始まり『仲間づくり』に終わる」

～キーワードは「自己開示」～

澤田 清人〈京都府・京都市立二条中学校長〉

○第4分科会（進路指導）「自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する力を育む進路指導」

【提案題1】「兵庫県公立高等学校通学区域制度における但馬地方の進路指導」

三好 和幸〈兵庫県・朝来市立和田山中学校長〉

【提案題2】「南中学校区『キャリア教育』の取り組み」

藏之前 賢〈大阪府・大阪狭山市立南中学校長〉

○第5分科会（学校経営）「学校経営と教育改革の推進」

【提案題1】「授業づくりと生徒理解を中心とした極小規模校の学校運営」

山下 真司〈和歌山県・那智勝浦町立色川中学校長〉

【提案題2】「人事評価制度と関連づけたOJTの取組」

辻本 長一〈滋賀県・草津市立老上中学校長〉

○第6分科会（地域と学校）「地域に開かれた、信頼される学校づくり」

【提案題1】「地域に支えられ、地域と共に歩む学校をめざして」

中尾 浩二〈兵庫県・洲本市立安乎中学校長〉

【提案題2】「転換期における、地域との連携」

丸山 喜之〈奈良県・五條市立五条西中学校長〉

以上の分科会においては、最後まで熱心な研究協議が行われた。その後、滋賀県教育委員会事務局の課長・参事・主査及び滋賀県総合教育センター所長による指導助言があり、全日程を終了した。

大会後の参加者を対象としたアンケート調査では、概ね好評であったが、細かな改善点も含めて、次年度開催地の大阪府と綿密な引継ぎを行っていききたい。

中国・四国地区中学校長会

中国地区会長 梶原 敏

(岡山県岡山市立西大寺中学校長)

中国・四国地区中学校長会は中国地区5県（鳥取、島根、岡山、広島、山口）と四国地区4県（香川、高知、徳島、愛媛）で組織されている。

本会は、全日本中学校長会と連携を保ちながら、中国・四国地区各県中学校長会相互の緊密な連絡・連携を図り、会員の資質能力の向上に努め、中学校教育の進展に寄与することを目的としている。

主たる活動としては、年3回の中国・四国中学校長会連絡協議会と年1回の中国・四国中学校長研究会の開催である。各県の取組や課題を協議・情報交換し、教育課題の解決に向けて取り組むとともに、中学校教育の質の向上に向けて努力している。

1 平成29年度中国・四国中学校長会連絡協議会

(1) 第1回連絡協議会（平成29年6月21日 岡山県岡山市 ピュアリティまきび）

① 開会挨拶 刈谷 好孝（全日中副会長、四国地区会長、高知県中学校長会長）

② 大会会長挨拶 梶原 敏（全日中副会長、中国地区会長、岡山県中学校長会長）

③ 自己紹介

④ 中央情勢の報告 刈谷 好孝（全日中副会長、四国地区会長、高知県中学校長会長）

⑤ 協議及び情報交換

ア 協議（司会・進行：全日中副会長・四国地区会長 刈谷 好孝）

a 第51回中国・四国中学校長研究会の運営について（大会実行委員長 下村 和男）

b 大会宣言（案）について（岡山県中学校長会理事 三上 政誉志）

c 次期研究大会について（鳥取県中学校長会長 小椋 博幸）

d 次期協議会について（愛媛県中学校長会長 吉田 慎吾）

イ 情報交換（司会・進行：全日中副会長・中国地区会長 梶原 敏）

a 中学校部活動のあり方について

b 高校入試（志願変更、二次募集等）について

⑥ その他、諸連絡

⑦ 閉会挨拶 梶原 敏 (全日中副会長、中国地区会長、岡山県中学校長会長)

(2) 今後の連絡協議会予定

- ① 平成29年度第2回連絡協議会 (平成29年8月18日 愛媛県松山市)
- ② 平成30年度第3回連絡協議会 (平成30年2月2日 高知県高知市)

2 平成29年度第51回中国・四国中学校長研究会岡山大会 (6月21日、22日、23日 岡山県岡山市)

第51回中国・四国中学校長研究会岡山大会が、「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」の大会主題を掲げ、「夢と絆で創る輝く未来 晴れの国 岡山から」をスローガンに、歴史と文化の薫る桃太郎の郷、岡山市で開催された。天候の影響を受けることもなく、1,038名の参加をいただき、大変有意義な研究会となった。

第1日目は、午後から各県中学校長会長、事務局長、岡山県大会役員が集い、大会運営等についての協議、平行して全体会や分科会の司会者、提案者、記録者、指導助言者等の綿密な打合せが行われた。

第2日目の開会式では、梶原敏大会会長の挨拶に続き、岡山県教育委員会 福原洋子義務教育課長、岡山市教育委員会 菅野和良教育長、全日本中学校長会 直田益明会長から祝辞をいただいた。全体会Ⅰでは、全日中 直田益明会長から「全日中の活動及び中央情勢」についての報告があった。午後からは、4分科会8提案の研究発表があり、それぞれの分科会で研究の視点を踏まえた活発な研究協議が行われた。

第3日目は、全体会Ⅱとして、分科会報告に続いて、本大会の大会宣言や次期開催県(鳥取県)を決定する決議を行った。その後、元岡山県立岡山盲学校の教頭、竹内昌彦氏から「私の歩んだ道 ～見えないから見えたもの～」と題して記念講演があった。幼少時からの激しいいじめや障害者差別等、数々の困難や挫折をバネに誰よりもたくましく「今」を生き抜いておられる姿から、現場の校長にとって、明日への勇気と希望、そして大きな活力をいただいた。

(1) 第1日目 6月21日(水)

- ① 平成29年度第1回中国・四国中学校長会連絡協議会
- ② 第51回中国・四国中学校長研究会岡山大会運営委員会
- ③ 全体会、分科会運営打合せ
- ④ レセプション

(2) 第2日目 6月22日(木)

- ① 開会式 挨拶：大会会長 祝辞：岡山県教育委員会義務教育課長、岡山市教育長、全日中会長
- ② 全体会Ⅰ 全日中報告
- ③ 分科会

分科会	研究協議題	提案者
第1分科会	A 「生きる力」を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善	徳島・山城中 山田 泰弘
	B 主体的な学びをめざして	広島・七尾中 藤井 哲也
第2分科会	A 心に響き、心を耕す道徳教育の充実	山口・長成中 橋本 修
	B 体力の向上や健康の保持増進を図る教育活動の充実	愛媛・野村中 井上 健
第3分科会	A 今の学びが将来につながることを知り、すすんで活動する生徒の育成	鳥根・金城中 滝本 浩之
	B 仲間づくりを通して育む自己肯定感と達成感	鳥取・西中 松ノ谷 博
第4分科会	A 質の高い教育を実現するための人材育成の推進	高知・西部中 山田 洋士
	B 時代の要請に応える校長のリーダーシップの発揮	香川・白峰中 國木 良輝

(3) 第3日目 6月23日(金)

- ① 全体会Ⅱ 大会宣言決議、次期開催県決定(鳥取)
- ② 記念講演 演題「私の歩んだ道 ～見えないから見えたもの～」 講師：竹内 昌彦氏
- ③ 閉会式 挨拶：次期開催県(鳥取県会長)、大会実行委員長

3 平成29年度各県会長

鳥取県会長	倉吉市立東中学校	小椋 博幸
鳥根県会長	松江市立湖南中学校	園山 信夫
岡山県会長	岡山市立西大寺中学校	梶原 敏
広島県会長	広島市立大塚中学校	北崎 俊司
山口県会長	山口市立鴻南中学校	山崎 伸介
香川県会長	高松市立玉藻中学校	津山 勝義

高知県会長	高知市立三里中学校	刈谷 好孝
徳島県会長	徳島市立徳島中学校	多田 栄作
愛媛県会長	松山市立桑原中学校	吉田 慎吾

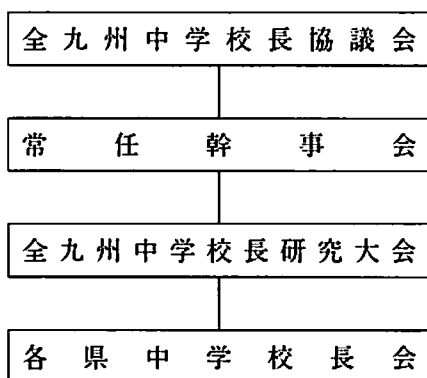
九州地区中学校長会

会長 北園博之
(鹿児島県鹿児島市立伊敷中学校校長)

全九州中学校長協議会（略称「全九中」）は、九州地区8県の中学校長会「九州は一つ」を合い言葉に、昭和24年に組織された。以来、九州各県の校長たちは、それぞれの時代の教育課題を真摯に見つめながら、その解決に向けて相互に連携し、九州各県の中学校教育の充実に大きく貢献してきた。

平成29年度も常任幹事会を組織し、第68回全九州中学校長会研究大会の鹿児島県での開催に協力し合い、校長のリーダーシップに資する学校経営の在り方、諸教育課題の解決等に向け、共通理解を図りながら相互に協力した活動を展開している。

1 組織及び役員構成



役職名	氏名	県名	会員数
会長	北園博之	鹿児島	195
副会長	松尾和彦	宮崎	128
	中曾哲也	熊本	161
常任理事	麻崎昭仁	福岡	334
	野口敏雄	佐賀	83
	平山サナエ	長崎	156
	小野精一	大分	124
	上江洲 隆	沖縄	145
全会員数			1,326

2 常任幹事会

協議会規則により、各県中学校長会会長で組織し、会長1人、副会長2人を互選により選出している。ただし、規約の付則により、会長は、研究大会開催県の鹿児島県、副会長は前年度開催県の宮崎県、次年度開催県の熊本県から選出している。

定例の常任幹事会は、5月、8月、2月の年3回開催する。

- (1) 第1回常任幹事会 期日：平成29年5月12日（金） 場所：ウェルビューかごしま

〈議題〉

- ① 平成28年度協議会会務報告、決算報告
- ② 平成28年度協議会事業計画、予算案
- ③ 第68回全九州中学校長研究大会鹿児島大会の運営、予算案
- ④ 感謝状贈呈について
- ⑤ 平成30年度第69回全九中熊本大会について
- ⑥ 平成31年度第70回全九中佐賀大会について
- ⑦ その他（全日中・全九中関係分担、文科省行政説明について）

〈情報交換〉

- 九州各県の教育課題（カリキュラム・マネジメント、政令指定都市の校長会の在り方等）

- (2) 第2回常任幹事会 期日：平成29年8月23日（水） 場所：城山観光ホテル

〈議題〉

- ① 第68回全九州中学校長研究大会鹿児島大会日程の概要について（運営要項）
大会運営連絡会、分科会運営、開会式、全体会、記念講演、閉会式について
- ② 感謝状贈呈について
- ③ 平成30年度第69回全九中熊本大会について

〈情報交換〉

- 九州北部豪雨による福岡県、大分県への支援について
- (3) 第3回常任幹事会 期日：平成30年2月9日（金） 場所：ウェルビューかごしま
- 〈議題〉
 - ① 全日中理事会報告
 - ② 鹿児島大会の総括と事業報告、決算報告
 - ③ 平成30年度全日中・全九中役割分担
 - ④ 平成31年度全九中佐賀大会について
 - ⑤ その他
- 〈情報交換〉
 - 九州各県の教育課題について

3 平成29年度 第68回全九州中学校長研究大会鹿児島大会

本年度の全九州中学校長研究大会は、鹿児島県での開催となる。西郷隆盛が自決した城山洞窟の近くにある「城山観光ホテル」を会場に730人の会員が集い、鹿児島県知事、鹿児島市長、鹿児島県教委教育長、鹿児島市教委教育長、鹿児島県連合会校長会会長をはじめ、多数の御来賓をお迎えして、8月23日（水）～25日（金）の3日間の日程で開催した。

大会は、以下のとおりで実施した。

- (1) 第1日 8月23日（水）
 - ① 常任幹事会 ② 大会運営連絡会（全体説明・分科会別打合せ） ③ 常任幹事会懇談会
- (2) 第2日 8月24日（木）
 - ① 開会式 挨拶：大会会長 全日中会長、祝辞：鹿児島県知事、鹿児島市長
 - ② 全体会（文部科学省行政説明、研究主題趣旨説明、分科会討議説明、大会宣言文策定説明）
 - ③ 分科会
 - 第1分科会：「生きる力」を育成する教育課程の編成・実施・計画
（担当県：鹿児島県・熊本県）
 - 第2分科会：生涯にわたり学習する基盤を培う「確かな学力」の定着と向上
（担当県：長崎県・宮崎県）
 - 第3分科会：豊かな心や健やかな身体と体力の向上を図る教育の充実
（担当県：沖縄県・長崎県）
 - 第4分科会：豊かな学校生活を築き、自らの生き方を育む指導の充実
（担当県：福岡県・佐賀県）
 - 第5分科会：時代の要請に応える学校経営の充実
（担当県：沖縄県・福岡県）
 - 第6分科会：質の高い教育を実現するための人材育成の推進
（担当県：佐賀県・大分県）
 - ④ 大会宣言文審議
- (3) 第3日 8月25日（金）
 - ① アトラクション 鹿児島市立鹿児島女子高等学校 箏曲部・音楽部・民謡部
 - ② 全体会 大会宣言文決議
 - ③ 記念講演 講師：日本ガス株式会社代表取締役社長 鹿児島国際大学学長
津曲 貞利 氏
演題：「地域から世界へ」
 - ④ 閉会式 挨拶（大会会長）、次期開催県挨拶（熊本県会長）

4 大会を終えて

本大会は、昨年度の宮崎大会での研究主題「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」を引き継ぎ、来年の明治維新150年という歴史の大きな節目を迎える中で実施した。

6つの分科会において、「全日中教育ビジョン10の提言」の趣旨を踏まえ、研究主題に迫る具体的な方策を究明しながら、九州各県からの提案や実践に基づく研究成果や課題を共有できたこと、今日的な教育課題にも共通認識をもてたことは、極めて意義深いものと考えている。本大会を通して、九州の中学校長の英知と創造力を結集し、九州中学校教育の一層の充実発展を期していきたいと考えている。